

安心していきいき暮らせる、みんなの六郷

六郷社協だより

編集・発行

六郷地区社会福祉協議会

健康管理の大切さ

六郷地区社会福祉協議会

会長 石黒 康二



この原稿を病室で書いている。身をもって体験した健康管理の大切さを皆さんにお伝えし、他山の石として頂きたい。

「このくらいは持ち上げられるだろう」と思ったポリタンクが持ち上げられず、「ぎっくり腰」になってしまった。痛み止めのクスリで痛みを抑えつける方を選んだ。一週間経ってだいぶ良くなったが、さらにクスリ飲みを5日間ほど続けた。その結果、腰の痛みは緩和したが、徐々に胃のあたりが不快を増し、ふらつく感じとなり、夜のトイレ行きには杖

が必要となった。ついに、貧血症と胃潰瘍との診断で、仙台医療センターに緊急入院する破目となってしまった。

関係の皆様には、多大なご心配やご迷惑をお掛けしたことをお詫びしつつ、改めて自分の身体の自己管理の大事さを痛感した次第である。

人の身体は有機的につながっている。一部の不調が他の不調につながっていく。自分の健康を保つことが自分の事をできることであるし、他の人のサポートやいろいろな活動に繋がる。

自分の体力や健康を過信せず、元気に過ごす事の大切さを、痛みを伴って体験したことをお伝えし、日々健康に過ごす糧にして頂ければ幸いである。

東日本大震災慰霊

東日本大震災から14年目となる3月11日、東六郷コミュニティ広場にある慰霊碑前には、多くの花が手向けられ、2時過ぎには各町内会長はじめ民生委員、地域住民の方々等、50名ほどの方が集まり、黙祷・焼香致しました。

地震発生時刻の2時46分には皆で手を合わせ、亡くなられた方々の慰霊を行いました。朝から夕方まで焼香する方が絶えず、慰霊の一日となりました。



ふるさとにっとう鎮魂の花火



「わたしのふるさとプロジェクト」主催による

「鎮魂の花火」は、今年で10回目の開催となりました。

このイベントは震災で亡くなられた方々への慰霊と地域住民が再会し、交流を深める場として企画されました。

3月1日、この時期とは思えない暖かい一日で、振る舞い用に準備したおしるこが足りなくなる位多くの方が来場しました。

花火の前には「六郷くろしお太鼓」「六郷すずめっこ」の演舞、「東六郷の〇×クイズ」等、笑顔と和やかな空気が会場全体を包みました。

そして午後6時には澄みきった冬の夜空に震災で亡くなられた方の数と同じ128発の花火が打ち上げられました。その鮮やかな光と音は感動的なものとなりました。



令和6年度

六郷地区社会福祉協議会 福祉委員研修会について

令和6年度は福祉委員研修会を5月、11月と2回実施いたしました。

1回目は、基礎研修として福祉委員の方をはじめ、町内会長・民生委員の皆様から96名の参加をいただき5月21日、六郷市民センターで行いました。

研修では、仙台市社会福祉協議会ボランティア協働係長 春 由美 氏による「楽しくボランティア」と題して講話があり、ボランティアに対する感じ方や、メリットについてなどお話があり、見守りの方法や連携のやり方についての話では、皆さんが頷くところもあったようでした。

その後、参加者全体でグループごとに分かれ、日頃の地域活動について自由に話し、お互いの情報交換をしていただき、サロンや見守りに関しての話題では、うまくできないことや、やり方を工夫しているところなど色々話が出ているようでした。

この情報交換では、お互いや、負担に思っている自分の思いが話せて良かったなどの意見が寄せられました。

この研修会で、活動されている皆さんの心持が軽くなっていただければと思います。

2回目は、11月19、21、26日の3日にわたり、110名の参加により移動研修として、太白区人來田にあ

る障害者就労継続支援B型事業所「ポッケの森」を訪問しました。

洋菓子・給食部門の作業場を見学し、施設長 星野 公延 氏から事業運営の説明をしていただき、入所者とその家族とのかかわり合い方などのお話があり、参加者からは参考になったとの感想をいただきました。

また、お菓子の買い物を楽しむことが出来たこともあって、心に残った研修会となったのではと思います。

地区社協として、福祉委員の皆さんがより良い活動が出来ますよう今後とも努めてまいります。

ご参加ありがとうございました。



星野氏 研修風景



お菓子作りの様子



集合写真

『防災講座』



防災講座「助け合ってご〜!」は、地域の住民向けに、赤い羽根共同募金助成事業として、六郷地区社会福祉協議会の主催で、同じ内容で2回行いました。

1回目は令和6年7月3日(水)に沖野市民センターで34名の参加者、2回目は7月7日(日)に六郷市民センターで36名の参加者を得て行う事が出来ました。

講座は、最初に防災すごろく「助け合ってご〜!」を行いました。5〜6名でテーブルを囲みサイコロをふります。その目の出た所に、災害時の備えや、アクシデントでの住民同士の助け合い、自分が誰かを支える



すごろく風景

力になる、避難所での過ごし方、などの課題が書いてあり、解決しながら元気カードを集めていってあがりとなります。

また、くらしの学びサポートオフィス Human Being代表の菅原清香氏の講話で

は、屋内の防災対策・災害備蓄・ローリングストックについて学びました。

参加者からは、このゲームが東日本大震災後、2年の歳月をかけて作成された事への驚きや、ゲームが楽しかった事、改めて家族と何が必要かを確認したいと思う、周りの人ともっと防災・減災の意識を共有したい等々感想が寄せられました。

自然災害発生の割合が高い日本です。今後も防災・減災の大切さを学んでいかなければならないと思いました。



講話風景



集合写真

六郷地区町内会会長

《敬称略》

町内会	会長名	電話番号	町内会	会長名	電話番号	町内会	会長名	電話番号
沖野	やよい	高橋 信一	沖野	上飯田第一	茂木 勝	六郷	今 泉	石黒 康二
	沢 田	三塚 一良		沖野団地	佐々木 康夫		二 木	相沢 和紀
	中河原	菊地 徳吉		上飯田西	中嶋 賢三		三本塚	小野 吉信
	中 柵	庄子 克典		上飯田中央	早坂 憲也		種 次	大友 重義
	三ッ橋	菊地 満雄		上飯田南	太田 善雄		井 土	大友好 成
	横堀東	結城 正芳		上飯田大町	佐々木 好悦		久保田東	東海林 義一
	横堀西	菊地 純		下飯田	鈴木 壽雄		六郷市営住宅	白井 由美子
	館	染谷 恵司		日 辺	針 生 納			

六郷地区民生委員児童委員

受持町内会	氏 名	電話番号	受持町内会	氏 名	電話番号	受持町内会	氏 名	電話番号
沖野	やよい	高橋 きぬ子	沖野	館	湯 目 實	六郷	日 辺	相澤 尚樹
	沢 田	三塚 妙子		館	染谷 恵司		今 泉	立花 正祐
	沢 田	末永 久美子		館	中谷 和男		今 泉	馬目 敦子
	中河原	武藤 智子		上飯田第一	伊藤 久美恵		今 泉	大橋 眞澄
	中 柵	文屋 俊英		上飯田西	勝又 猛良		今 泉	鈴木 三枝
	中 柵	川村 泰		上飯田中央	高橋 洋子		二木・井土・三本塚・今泉	庄子 フミ子
	三ッ橋	尾形 あさ子		上飯田南	本多 やゑ子		種 次	阿部 あや子
	横堀西	濱田 美和子		上飯田南	佐藤 誠		久保田東・今泉	松崎 幸子
野	横堀西	齋藤 宏子	郷	上飯田大町	菅原 玲子	郷	主任児童委員	青沼 淳子
	横堀東	櫻井 千賀子		下飯田	遠藤 千枝子		主任児童委員	安藤 幸恵

六郷地区社会福祉協議会福祉委員

町内会		氏 名		町内会		氏 名		町内会		氏 名	
沖野	やよい	高 橋 清 子	横堀東	阿 部 良 子	六郷	上飯田西	中 嶋 賢 三	上飯田大町	六郷	神 保 友 美	
		櫻 井 夏 江		大 宮 美佐子			川 嶋 順 子			土 屋 葉 子	
		大 森 厚 子		木 皿 厚 子			安 斉 正 幸			田 口 雄 太	
	沢 田	横 山 春 子		清 水 美智子			佐 藤 光				
		庄 子 好 江	庄 司 やよえ	高 橋 浩		下飯田	佐 藤 とも子				
		丹 野 純 子	平 岡 やえ子	鵜 田 清 美			遠 藤 り さ				
	松 平 育 子	遠 藤 光 江	今 野 洋	平 塚 士 容							
	中河原	細 畑 敬 子	佐々木 きよ子	木 村 篤 子	上飯田中央	今 泉	阿 部 幸 子				
		中 野 京 子	遠 藤 し と	相 澤 典 子			菅 野 せつ子				
		高 橋 とも子	斉 藤 文 枝	佐 藤 佐智子			鹿 野 良 子				
	中 柵	木 皿 妙 子	泉 記 代	菅 野 文 子			上飯田南	二 木	笠 原 初 美		
		佐 藤 周 子	齋 藤 るり子	相 沢 香	加 藤 由 美						
		文 屋 恵 子	丹 野 和 恵	沼 倉 矢 一	菅 野 タシミ						
		野	加 藤 啓 子	安 藤 ひろみ	太 田 善 雄	三本塚	種 次	相 澤 せつ子			
			我 妻 晶 子	會 澤 恵 子	川 口 忠 義			大 内 良 子			
	佐 藤 萬里子		葛 西 榮 子	及 川 守	久保田東		佐 藤 幸				
	三ッ橋	丹 野 多美子	水 戸 敏 夫	高 橋 光 朗	上飯田大町		阿 部 幸 政				
		宇和野 悦 子	鈴 木 仁 子	五 百 川 喜久子			橘 レイ子				
大 泉 きみ子		菅 井 かよ子	宮 内 フミ子	齋 かつ子							
横堀東		林 ヒサ子	清 水 龍 子	高 橋 秋 男							
	木 皿 ふさ子	佐々木 康 夫	篠 原 宣 子								
		秋 葉 紀 恵	沖野団地								

令和7年度 六郷地区社会福祉協議会役員

会 長	石黒 康二	会 計	菅原 玲子
副会長	本田 昭夫	地域福祉推進員	三塚 妙子
副会長	庄子 フミ子	監 事	庄子 克典
庶 務	尾形 あさ子	監 事	立花 正祐
庶 務	相澤 尚樹		

社協だより 編集委員

・石 黒 康二	・庄子 フミ子
・庄 子 妙子	・三塚 妙子
・湯 目 實	・鈴木 三枝
・鈴木 三枝	

六郷・沖野地域包括支援センター長
変更のお知らせ

六郷 荒 若 直 子
沖野 大 谷 みち子

～六郷地区ボランティアひまわり会～

濱田 美和子

高齢者の皆さんの見守り活動をしなが
「手作り弁当」の配食を行っています。会
員の皆様のご協力と食材の提供を頂き
てもありがたいです。

メニュー作りも季節にあった食材を取り
入れて予算と見合わせながら、あれこれ考
えながらも頭の体操をしながらやっています。
皆さんの笑顔にあえることを楽しみに、食
事作りをしています。

右の写真は昨年(12月(クリ
スマス月)の配食です。沖野・六郷
児童館の子ども達のお便りとクリ
スマスプレゼントをお届けしまし
た。

また、私達と一緒に活動して下
さる仲間も随時募集しています。



問い合わせ 高橋 洋子

◆〈沢田なでしこ会茶話会〉

沢田町内会 庄子 好江 細畑 敬子

2018年7月、沢田町内会に福祉委員2名が誕
生したことで高齢者向けのサロン活動「沢田な
でしこ会茶話会」が始まりました。

現在は町内会文化部長・福祉委員4名・民生
委員2名の合計7名が中心となり、サロン会の
他に、福祉委員と民生委員で、高齢者の「見守
り活動」も実施しています。

サロン会は、地域包括支援センターや社会福
祉協議会の支援をいただきながら、コロナ禍で
約2年のブランクはありましたが、今年3月には

30回目の開催を迎えることが出来ました。活動
始動時に懸念された男性の参加も徐々に増えて
きています。

告知には、町内会の回覧板の他に見守り活動
時に、チラシ配布や声かけ等の工夫をしていま
す。昨年度は卓球バレー、小物入れ作り、防災
講話、お琴の演奏、介護予防教室、脳トレ、コ
ミュニケーション麻雀と実施し、参加者と一緒に
楽しんでいます。これからも地域の集いの場
の拡がりに繋がっていくことを願っています。

◆ 六郷地区社会福祉協議会 会計から

六郷地区の各町内会を通して、令和6年度社協会
費は **総額 1,909,800円** となりました。全額を仙
台市社協に納入いたしました。その中から当社協に
還元され、福祉のまちづくりを推進する
ための貴重な財源となっております。
ご協力ありがとうございました。



小物入れ作り

◆ こんにちは 民生委員です。

民生委員児童委員は、地域住民の身近な相談相
手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機
関をつなぐ役割を担っています。

また民生委員は児童委員も兼ねており、子ども
や子育て世帯の支援も行っています。民生委員児
童委員は法律に基づき、厚生労働大臣が委嘱しま
す。守秘義務により相談内容は守られます。

◆ 編集後記

各町内での活動が活発に行われるようにな
って来ました。

各自の健康維持と、地域のコミュニケー
ション作りの為に、積極的に参加してみま
しょう。

主任児童委員として

青沼 淳子

以前、主任児童委員をさせていただいており
ましたが訳あって離れ、4年ぶりにこの仕事に
戻って参りました。一言に4年と言っても想像
できなかったコロナ禍を過ごしたことは皆様
のご記憶にも新しいでしょう。

これまで外に出て大いに笑い、集い、体を動
かすことが推奨されておりましたが、すべて禁
じられ、マスクでの生活を余儀なくされました。
これは子育てにおいても親子はもちろん、身近
な人との関わりで、笑顔などの表情、たくさん
の言葉がけや童謡などの暖かみのあるコミュニ
ケーションが取りにくくなったように
思えます。だからこそ今、地域で声を
かけ合い、世代を超えての信頼関係
を築いていきたいと願っております。

